

六月二十四日 との大衆団交をめぐり り、授業料値上の本質 を大衆的に明らかにしよう

全和泉の学友諸君

明治大学における学値上げが決定され、これをめぐり急遽に展開して来、おり、学友諸君自身、また
は、まじりとした形で、この問題に対応してまいり、この現状をもちいらした原因
は、三十七年当時の学値問題に關する理學部と學生の交渉を、理學部が一方的に放棄したところ。まな
わち、学値上の件に關しては、白紙の状態、學生と理學部とが話し合っていない、これは、むづかしいにもか
わらず、理學部は一方的に学値上げを決定してしまつたのである。

ゆゑに、學生會は、現時に於て、第一に、學生と理學部との話し合ひを行つて、大學であるとして、六月二
十二日に団交を行うよう申し入れをしたが、理學部は、それを拒んで、二十四日に行つよう返答して来た。
ゆゑに、六月二十二日をメルクマールとして、情實活動を行つて来たが、六月二十四日に対して、学友諸君
の参加を呼びかけることにした。

学友諸君、六月二十四日、午後三時から本校新學館五階ホールに於て行なつた理學部との大衆団交に参加し
、学値上げ理由と、学値上げの意旨するものを明らかにしようではないか
早大における学値上げ反対斗争が、いやは、私大の一つ一つの矛盾を明らかにしたように、今回の大衆団交
において、明治における矛盾を明らかにし、もつて、學向の自由と、大學の自治のあるべき姿を鮮明なものとし
ていかなるわけにならう。

學生會中央執行委員會
法政部、政経部、文部部、學生會

スケジュール

12時 和泉中庭抗議集會
2時 バスにて本校へ
3時 団交が、新學館五階